

読売新聞 きょう（10月18日）のイチ押し

1面 ブリやマダイ漁獲規制 水産庁案（本紙の特ダネです）

水産庁は、国内の漁業者に対し、新たにブリやマダイなど15種で漁獲量に規制を設けるとした規制案をまとめました。

- ★ ブリやマダイ、ホッケなど11種は2021～23年度、ムロアジ類やベニズワイガニなど4種は23年度に、それぞれ規制を導入する計画です。
- ★ 自然環境の変化や乱獲で減っている水産資源を保護し、将来的な漁獲量を確保するのが目的です。
- ★ 今後、漁業者らの意見も踏まえたうえで、有識者も加わる検討会で正式決定し、具体的な内容を決めます。

第2社会面 専大7年ぶり箱根へ 無観客の予選会10校突破

来年1月2、3日に本大会を開催予定の「第97回東京箱根間往復大学駅伝競走」（箱根駅伝＝関東学生陸上競技連盟主催、読売新聞社共催）の予選会が行われ、順大、中大、城西大など10校が予選を突破しました。

- ★ 新型コロナウイルス感染防止のため、通常の市街地を巡るコースを変更し、東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地内を周回するコースを利用、無観客で実施されました。
- ★ 専大が10位で7年ぶりの本大会に返り咲き、山梨学院大は7位で通過。前回26年ぶりの出場を果たした筑波大は18秒差の11位で落選しました。
- ★ 20ページの特別面で予選会の成績等を詳報しています。

他紙と比べて

来年1月、大学入試センター試験に代わり、大学入学共通テストが実施されます。新型コロナウイルスの影響で、受験日程が2回設定されるなど異例の入試となります。24～27ページに掲載の「2021進学特集」では、来春の大学入試の傾向や、共通テストの特徴、個性が光る大学や新設学部・専攻を紹介しています。